

|                                        |                                                                                                      |       |      |
|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|
| 区分                                     | 専門基礎分野                                                                                               | 単位    | 1単位  |
| 科目名                                    | 徴候と症状の統合                                                                                             | 時間数   | 30時間 |
| 講師名                                    | 非常勤講師                                                                                                | 履修学年  | 2年次  |
| 概要                                     | 疾病の原因や進行プロセスで生じる様々な徴候・症状がどのようなメカニズムで発生し、身体にどういった影響を及ぼすのかを理解する。                                       |       |      |
| 学習目標                                   | 1. 共通にみられる病気の特徴として、病理学的変化の炎症・出血・梗塞・腫瘍が理解できる。<br>2. 関連図を用いて整理することで、疾病の原因や進行プロセスで生じる様々な徴候・症状について理解できる。 |       |      |
| 授業内容                                   |                                                                                                      |       |      |
| 回数                                     | 学習内容                                                                                                 | 授業形態  |      |
| 1                                      | 炎症、出血、梗塞、腫瘍について①                                                                                     | 講義    |      |
| 2                                      | 炎症、出血、梗塞、腫瘍について②                                                                                     | 講義    |      |
| 3                                      | 徴候と症状の関連性の理解（関連図）                                                                                    | 講義    |      |
| 4                                      | 消化器疾患（炎症・腫瘍）について                                                                                     | 講義・演習 |      |
| 5                                      | 各グループの課題に沿ってグループワーク                                                                                  | 演習    |      |
| 6                                      | 各グループの課題に沿ってグループワーク                                                                                  | 演習    |      |
| 7                                      | 各グループの課題に沿ってグループワーク                                                                                  | 演習    |      |
| 8                                      | 各グループの課題に沿ってグループワーク                                                                                  | 演習    |      |
| 9                                      | 各グループの課題に沿ってグループワーク                                                                                  | 発表・評価 |      |
| 10                                     | 脳外科疾患（出血・梗塞）について                                                                                     | 講義・演習 |      |
| 11                                     | 各グループの課題に沿ってグループワーク                                                                                  | 演習    |      |
| 12                                     | 各グループの課題に沿ってグループワーク                                                                                  | 演習    |      |
| 13                                     | 各グループの課題に沿ってグループワーク                                                                                  | 演習    |      |
| 14                                     | 各グループの課題に沿ってグループワーク                                                                                  | 演習    |      |
| 15                                     | 各グループの課題に沿ってグループワーク                                                                                  | 発表・評価 |      |
| 使用教科書・教材・参考書                           |                                                                                                      |       |      |
| 新体系看護学全書 人体の構造と機能① 解剖生理学 メヂカルフレンド社     |                                                                                                      |       |      |
| 新体系 看護学全書 疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学 メヂカルフレンド社 |                                                                                                      |       |      |
| エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図 中央法規出版             |                                                                                                      |       |      |
| 新体系看護学全書 成人看護学⑤ 消化器 メヂカルフレンド社          |                                                                                                      |       |      |
| 新体系看護学全書 成人看護学⑥ 脳・神経 メヂカルフレンド社         |                                                                                                      |       |      |
| 成績評価の方法                                |                                                                                                      |       |      |
| グループワーク及び発表（消化器50％ 脳外科50％）             |                                                                                                      |       |      |
| 備考                                     |                                                                                                      |       |      |
| < 授業内容 >                               |                                                                                                      |       |      |
| 1) 導入：講義6時間                            |                                                                                                      |       |      |

炎症・出血・梗塞・腫瘍の病因別のメカニズムをとらえるために、病理学的変化が身体の中で何が起きているのか、原因をおさえる。

2) 授業展開：講義 4 時間・演習16時間

- ・炎症・出血・梗塞・腫瘍の病因別のメカニズムを調べる。
- ・疾患部位の機能と構造の特徴から、出現する徴候・症状を調べる。
- ・その疾患特有の徴候・症状の原因、誘因を調べる。
- ・疾患部位の機能と構造の特徴から、進行プロセスで出現する徴候・症状を調べる。
- ・疾患が人体に及ぼす影響や徴候・症状・検査/診断・治療について関連図を作成する。

3) 発表・評価：4時間

注) 徴候：患者の自覚症状でなく他者からとらえられるもの

症状：患者の自覚症状

- ・1・2・3・4・10回目は合同講義、その他は各クラス